

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	空き家対策推進事業			事業番号	017-061
担当部署名	建築都市	局	住宅	部	住宅まちづくり 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
			有	取組の方向性	④空家等対策の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b	
			有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	堺市空家等対策計画		
3	事業開始年度	令和 1 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	空家等対策の推進に関する特別措置法等		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁		
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市内の住宅及びその所有者等	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	空き家対策推進事業により、空家化の予防や利活用等の対策を推進し、安全で良質な住宅ストックの形成に資すること、及び市民の安全で安心な暮らしを確保することを目的とする。		
8	事業内容（目的を達成するための手段）	空き家実態調査・・・通報による把握に加え、堺市全域の戸建て及び長屋を委託により把握 予防対策・・・空き家所有者への啓発、空き家所有者セミナー（年1回開催） 活用・流通対策・・・住宅専門家相談（月1回開催）、空家等利活用支援業務を実施 管理不全対策・・・適切な窓口の案内、庁内連携による迅速な対応		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）			
10	公民連携・協働事業	協定締結した民間の不動産団体との空き家利活用支援事業		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了（予定）年度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
	空家等利活用支援業務による利活用提案数		件	目標値	—	10	10	10
				実績値	—	20		
				達成率	—	200%		
	当該指標を選定した理由	令和2年度に新設、令和3年度から本格実施している空家等利活用支援業務において、空き家所有者に協力事業者から利活用の提案をすることにより、空き家の管理不全化や空き家の解消が進むため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	空き家利活用支援業務に申込のあった空き家所有者に対し、利活用提案書を提示した件数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	空き家所有者セミナー参加人数		人	目標値	15	15	15	
				実績値	22	10		
				達成率	147%	67%		
	当該指標を選定した理由	セミナーを継続的に実施し、受講者を増やすことにより、空家等利活用支援業務の制度の周知を行い、また空き家所有者の意識啓発を図ることで、空き家の管理不全化を予防することができるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	セミナーに参加した空き家所有者等の人数						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	空き家対策推進事業	事業番号	017-061
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	7,016	2,930	1,000	990	0
13 財源内訳	国支出金	3,507	450	445	
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	3,509	2,930	550	545	
14 人件費 (b)	2,430	4,920	4,920	4,920	4,920
15 年間経費(c)=(a)+(b)	9,446	7,850	5,920	5,910	4,920

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	空き家化予防啓発支援業務	R3	決算	990	545		R3	決算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 空き家所有者セミナー参加人数	人	22	10
② 上記①にかかる年間経費	千円	45	45
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,046	4,500
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度は、空き家所有者セミナーについては、新型コロナウイルス感染対策で申込定員を減らした影響や、申込みの急遽キャンセルの影響を受け、セミナー参加者が減少していることから、単位当たりの経費が増加した。また、ゼロ予算事業として実施している民間事業者と連携した空家等利活用支援業務において、空き家所有者に対し、空き家の利活用（売却、賃貸、解体等）の相談・提案等を行い、加えてすまいのプランニングノート（相続に必要な情報や自分の思いを家族に伝えるツールとして活用していただくことを目的とした冊子）を作成し、空き家化の予防、活用・流通を図ることで、一定の効果をえた。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 所有者などによる適切な維持管理を促し、空家化の予防や空家等の活用・流通、管理不全空家等への対策に取り組み、管理不全空家等の除却や利活用につなげ、防災・減災力の向上に寄与した。